

補助金支援で初企画「AWARD」実施 トップ10事務所を表彰

会計事務所の付加価値サービスをサポートする「経営革新等支援機関推進協議会（以下、推進協議会）」を運営する（株）エフアンドエム（大阪・吹田市、代表取締役＝森中一郎氏）は、推進協議会の会員事務所を対象とした「2023年度ベストパフォーマンス賞」を発表した。

これは、全国1,700の推進協議会会員事務所から、中小企業の発展を目指し、各種補助金、融資資金繰り支援の実績を残した事務所を「推進協議会AWARD」として表彰する制度で、今年は第1回目となる。同社は昨年9月と10月に開催した推進協議会フォーラムにおいて、優れた付加価値支援に取り組む「TOP100事務所2023」を発表している。今回は補助金部門（事業再構築、ものづくり、小規模持続化）の中で多くの採択実績を持つ上位10位の会

計事務所を、ベストパフォーマンス賞TOP10として別途表彰したもの。トップ10事務所は以下のとおり。

日本みらい税理士法人（宮城県）、増田考邦税理士事務所（東京都）、（株）アブルーバルアシスト（東京都）、つばさ税理士法人（新潟県）、税理士法人末松会計事務所（愛知県）、MGS税理士法人（大阪府）、松下税務会計事務所（大阪府）、みどり合同税理士法人（香川県）、税理士法人アップパートナーズ（佐賀県）、税理士法人さくら優和パートナーズ（熊本県）。また、このほか、「経営力向上計画」と「先端設備等導入計画」の対応実績が高いパフォーマンス事務所も同時に表彰。今回に引き続き、4月には財務部門の表彰を予定している。